

### 海外ボランティア活動報告書

- ・ 期間：2010.8/1-8/14（二週間）
- ・ 場所：Villa D'Adda, Italy（ヴィラ・ダッダ、イタリア）  
北イタリアのミラノから電車で 40 分程度の町。
- ・ 主催団体：LEGAMBIENTE（レガンビエンテ）  
イタリアの環境保護団体。  
国内外で環境問題に関する活動（温暖化防止、生態系保護など）を運営している。  
※国際教育交換協議会（CIEE）日本支部の紹介による
- ・ 活動内容：①環境保護を目的としたワーク  
Villa D'Adda の、草の生い茂った小道や空き地の草刈り。  
毎日午前 8～13 時（雨天中止、日曜日は休暇）



① 私たちが整備した小道↑



②おにぎりを紹介↑

#### ②国際交流

メンバーは 13 人（イタリア 2 人、韓国 2 人、アメリカ 1 人、スロヴァキア 2 人、フランス 3 人、ロシア 2 人、日本 1 人）。

昼食後は自由時間として、国際交流のためのゲームやトーキングなどの時間に充てられた。毎晩のディナーはイタリア料理をはじめ、それぞれが郷土料理の紹介をした。日曜日は近くの町へ、メンバー全員で観光に出かけた。

- ・ 施設：宿泊施設は町の学校、シャワー室はプールのある別の施設を利用。

寝るときは2部屋に分かれて男女同室に雑魚寝、寝袋使用。

- ・ 私の参加動機：

第一に、海外経験を学生のうちにしておきたかったこと。パック旅行では味わえないような、イタリアの土地や風土や人々、町並み、文化などを肌でじっくり感じたかった。また、世界各地から集まるボランティアたちとの交流も楽しみであった。

計画を立てることから、飛行機やホテルの予約などすべて自分で行き、自己への自信へと繋がった。

また、ゼミ研究ではレオナルド・ダ・ヴィンチを主に題材としている私にとって、今回ワークキャンプのあった Villa D'Adda は、レオナルドゆかりの地ミラノから近くにあったため、開催地を選ぶ際の決定要因になった。

- ・ 参加後の感想：

二週間のワークでは、ただひたすら草刈りをしてしたが、都会暮らしの私にとって、このときほど自然に触れたことはなかった。手にカマを持ち、機械に頼ることなくジャングルのような雑草が生い茂った土地を開拓した。

また、宿泊所でも LEGAMBIENTE のメンバーに、節水やゴミ分別のことについて厳しく言われたので、環境について考える機会になった。朝食のパンは食べきれなかった場合、再び袋に戻し、それを次に誰かが食べるという仕組み。スパゲティをゆでたお湯は、捨てずに食器洗いの際に使った。このようなことは、今までにしたことがなかった。

参加前に不安だった自分のコミュニケーション能力については、基本的な英会話のスキル不足や、文化の違いによる伝わりにくさについて痛感した。参加した日本人が私一人であったこともあり、言葉や文化の違いを甘く見ていたため困難なことにたびたび直面した。そのなかでも、次第にうちとけあって、友達を作ることができたのが、いちばんの喜びだった。

最後に、ワーク後はミラノ観光をして、レオナルド・ダ・ヴィンチ関連の博物館や教会を回るなど、自分のゼミ研究に役立てることもでき、充実して過ごせた。このとき、街で会う現地の人々に日本の文化についてどのように思っているか、などを聞いてみたのも楽しかった。